



「私は人間を信じています、
誹謗中傷をなくしていけると信じています」

「ヤサシイハナをサカセマシヨウ」
木村響子さん講演会

10月18日(火)、覆面プロレスラーでもある立憲民主党所属の大分市議会議員のスカルリーパー・エイジ議員の企画で、「ヤサシイハナをサカセマシヨウ」木村響子さん講演会が大分市・ホルトホールで開催され、私も参加してきました。

これは、恋愛リアリティー番組出演中に起きた口論をめぐり誹謗中傷を受けなくなったプロレスラー木村花さん(享年22歳)のお母様で、花さんと同じくプロレスラーでもあるNPO法人Remember Hana代表理事の木村響子さんをお招きしての講演会でした。



木村響子さんは、SNSやインターネット上で誹謗中傷の根絶や誹謗中傷に関する条例の制定、侮辱罪の厳罰化、発信者の情報開示に関する手続きの簡素化を求めて全国で講演活動に取り組まれています。当日の講演会前にも、大分市内の中学校での講演、大分市長への要請などをされたそうです。

私もホームページや公式LINEなどで情報発信していますが、幸いにも誹謗中傷などを受けたことはありません。しかしながら、多くの方々は様々なSNSを利用していますから、この問題は誰にでも起きうる問題です。

木村響子さんによると、誹謗中傷をした人の情報開示は時間やお金もかかり、運営会社が外国の場合には英語で申請しなければならないなどハードルが高いそうです。さらに、その後は裁判での闘い。木村花さんに関する裁判では、いまだに賠償金を受け取れてはいないとも言われていました。

また、木村響子さん自身も「お金のために娘を利用して活動している」などの誹謗中傷を受けているとも言われていました。

講演会は、木村響子さんが一方的に語るというのではなく、参加者の思いや感想を聞きながら進められました。一人ひとりが問題に向き合い考えることができました。

講演の最後に、木村響子さんから「どうしたら誹謗中傷はなくなるのでしょうか?」という投げかけがありました。会場から「誹謗中傷はなくならないと思います」という声が出ました。しばらくの沈黙のあと、木村響子さんは「私は人間を信じています、誹謗中傷をなくしていけると信じています」と言われました。

その言葉は、私の胸に熱く響きました。

スカルリーパー・エイジ大分市議



原田活動アルバムから

10月10日(月)、大分市と国東の大分空港を結ぶホーバークラフトの旅客ターミナル起工式が設置場所の西大分港で行われました。ホーバーは2023年末に度就航予定です。



11月20日(日)、地元の別府市鶴見町自治会の文化祭が3年ぶりに開催され、青壮年部員として参加しました。来てくれた長野恭紘・別府市長と餅つきをしました。



11月16~18日(水~金)に行われた総務企画委員会の県外所管事務調査に参加。写真は、総務省でオフィス改革についてお聞きしたときの様子です。



12月9日(金)、大分市竹町で行われた「飲酒運転根絶フェア」に参加し、啓発グッズを配りました。2021年には県内で飲酒運転事故が28件も起きています。